

やすらぎ

y a s u r a g i

Vol. 19
平成22年

【目次】

P1...クローズアップ[外科]
P2...[呼吸器外科]、「がん市民公開講座」

P3...「子宮頸がんワクチン」、「防災訓練」
P4...「健康講座」、「栄養課便り」

診療科 クローズアップ

外科

部長 谷口弘毅



京 都第二赤十字病院の外科では、心臓血管外科あるいは呼吸器外科で扱う疾患以外の体幹部および

下肢静脈の外科疾患を取り扱っています。

年間の手術件数は約1250例で、最も多いのがソケイヘルニアです。古くから俗に「脱腸」と呼ばれてきた疾患で、手術による治療が必須です。小児と成人あわせて年間約200例の手術を行っています。嵌頓（かんとん）といって、小腸等が脱出して戻らない状況になると緊急手術が必要です。

次に多いのが胆石症です。昨年度は約140例に対して胆嚢摘出術を行いました。最近ではほとんどが胆嚢内にできる結石で、胆嚢から胆管に脱落した結石がある場合でも、消化器科がその処置をしてくれており、胆嚢を摘出するだけで済みます。胆嚢結石症の手術は胆石のみを取り出すのではなく、結石を胆嚢ごと摘出します。昨年度は約90%、124例に腹腔鏡下胆嚢摘出術を行いました。これは、腹腔内にテレビスコップを挿入し、他に直径5〜10mmの小さい傷から鉗子を挿入して手術を行うもので、入院期間は約4日で済みます。残りの16例は、胆嚢炎や胆管炎によって腹腔内の癒着が高度のため、



外科スタッフ一同(他に、飯塚救急部長、原田医師)

開腹手術が行われました。

三番目に多いのが巷で「盲腸」と呼ばれている急性虫垂炎です。昨年度は120例に対して虫垂切除術が行われました。虫垂は盲腸の先端についている通常は小指ほどの臓器ですが、糞石等で盲腸との交通が遮断されると炎症を起こし、大きくはれ上がったり、壊死を起したり、周囲に膿瘍を形成したりします。早期に切除しないと腹膜炎を併発しますので緊急手術を行います。早期に手術すれば2〜3日の入院で済みます。

そのほか、下肢静脈瘤の手術を昨年度は19例に行いました。

以上は当科で取り扱っている主な良性疾患ですが、私どもが日常的に最も労力を

かけているのは悪性腫瘍に対する外科的治療です。昨年度は食道がん4例、胃がん117例、結腸がん123例、直腸がん51例、肝がん34例、胆道がん6例、膵がん20例、乳がん48例、あわせて403例の手術を行いました。

胃がんでは早期がんに対して腹腔鏡補助胃切除術を行っています。進行がんに対しては開腹して胃切除術を行います。昨年度は41例(35%)が腹腔鏡補助手術でした。結腸・直腸がんでは腹腔鏡補助手術を中心にを行っています。ただ、腸閉塞等のため緊急手術を行わなければならない患者さんに対しては開腹して手術を行っています。昨年度の腹腔鏡補助手術は98例(56%)でした。昨年度から、肝・胆道・膵がんに対する手術を積極的に行うようになりました。本年度からは日本肝胆膵外科学会高度技能修練施設に認定され、肝胆膵高難度外科手術を日常的に行っています。

当院は地域がん診療連携拠点病院としての施設認定を受けており、当院の登録医(かかりつけ医)等との連携を密接にしなが、がん診療にあたっています。紹介を受けた患者さんについては、毎週開催している消化器科、放射線科、病理部等との*カンサーボードで治療方針の決定と確認を行っています。さらに、退院後は地域の診療医の先生と協力して術後の経過観察を行っています。とくに、胃がん病期II・III、結腸・直腸がん病期IIIの患者さんに対しては術後補助化学療法を地域の先生と協力して行っています。

安心して治療を受けてください。

*カンサーボードとは…がん医療に関する問題に対応するための院内の組織。



左より…鎌田医師、山田医師、西山部長、坂木医師、廣医師。

最近の肺がん手術の情報をお知らせします。

期間については多くは前日入院し術後約1週間から10日で退院となります。2週間もあれば大丈夫だと思います。最近では内視鏡手術のおかげで傷も小さくなり、出血も少なく入院期間が短くなり、患者さんには喜ばれています(?)肺がん手術の入院費用はおおよそ150万円くらいかかりますが保険により1~3割の負担で済みます。

痛い目をしてお金を取られるのは忍びないですが、どこで切られても一緒だと思いますのでわれわれはできるだけ痛みの少ない楽な手術を心がけています。肺がんは早期症例以外は切除後に再発するケースも多く、術後に切除した肺がん組織の広がりから再発予防のための抗がん剤が必要かどうか、放射線照射が必要かどうか呼吸器内科と相談して決めます。

スタッフは現在部長の小生一人ではありますが、外科の新進気鋭の若手4人と研修医たちの応援を得て手術をこなしています。近々に呼吸器外科専属のスタッフを確保、育成し、より充実した医療を目指したいと考えています。y



呼吸器外科

部長 西山 勝彦

はじめまして。呼吸器外科部長として2010年4月から赴任しました。これまで京都府立医科大学付属病院、済生会吹田病院などで手術を行ってまいりました。医師として30年以上も経過し、呼吸器外科専門医と胸部外科指導医、外科指導医をもって積み重ねてきた経験を生かし、京都第二赤十字病院において呼吸器外科の充実と発展に尽力する次第です。

呼吸器外科は基本的には肺がんの手術を中心に転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍なども広く行っています。その他手掌多汗症や気胸、良性腫瘍もします。呼吸器内科と共同で治療にあたっています。

肺がん手術の最近の情報をお知らせしましょう。発見は検診や他の疾患の検査中に偶然に見つかる場合と咳や痰、胸痛などの症状で受診しレントゲンやCTで異常陰

影として発見される場合がほとんどです。肺がんが疑われ、呼吸器内科で肺がんとしての確定診断を得るために少し苦しいかもしれませんが気管支鏡検査を受けていただかなければなりません。腫瘍の大きさや場所によっては皮膚の上からCTを使って針を穿刺する場合があります。まず症状がないのにこんなことをしなければならないのかと不満を言われます。病理学的に肺がんと診断されたら全身のチェックを受けてもらいます。リンパ節への広がりやほかの臓器(脳、骨、副腎など)へ転移していないか調べます。その後に治療方針の決定がされ、手術の適応があると判断されたら呼吸器外科に行くようにといわれてこられる方がほとんどです。外来で、切除しても呼吸が大丈夫かどうか術前検査を済ませ、手術予定日を決めます。入院

第5回がん市民公開講座

10/2
(土)

テーマ:「肺がんとは?」 呼吸器内科部長 原 洋 / 呼吸器外科部長 西山 勝彦

◎時間:午後1時~3時 ◎場所:当院C棟北6階会議室 ◎受講料:無料 ◎申込み方法:下記までお電話かFAX、又は直接来院にてお申し込みください。どなたでも聴講可能ですのでご自由にご参加ください。

◎お問い合わせ:地域医療連携室 TEL:075-212-6186 FAX:075-212-6358

「子宮頸がんワクチン」について

産婦人科部長 藤田 宏行

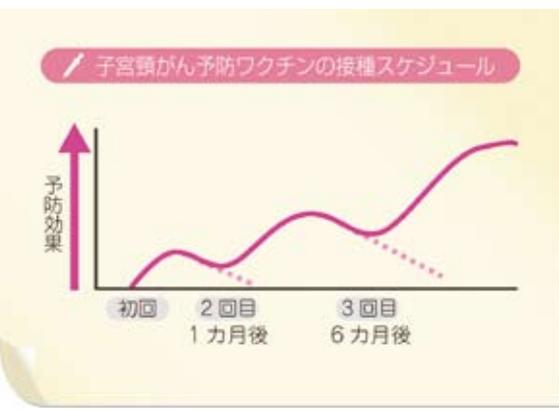
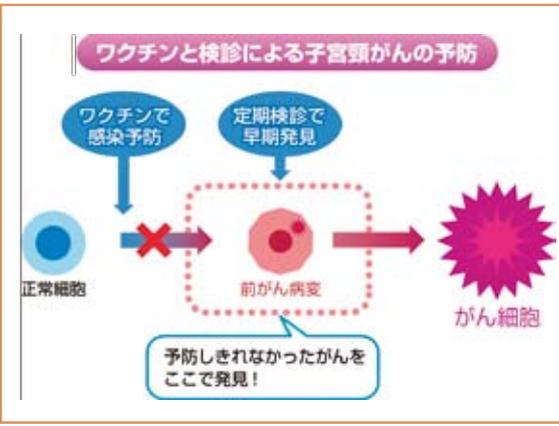
子 宮頸がんはヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によって発生し、原因がはっきりと説明されているがんです。日本では子宮頸がん検診の受診率が低く、20代から30代の若い女性で子宮頸がんの発症が急増しています。予防ワクチンの接種が昨秋に日本でも承認され、今後高い接種率が得られれば、子宮頸がんの発生が現在の半数以下に抑えられると考えられています。

HPVは誰もが感染しうる非常にありふれたウイルスで、80%近くの女性が生涯に一度は感染します。現在日本で接種されているHPVワクチンは、最も発がんリスクが高いとされている16及び18型に対するワクチンで、血中の抗体価を十分に上げて感染を予防するには3回の接種が必要です。推奨される接種年齢は11、12歳ですが、HPVに未感染であること、ワクチンに対する免疫反応が良好なことがその理由です。ただ

もっと知ってほしい 予防できる「子宮頸がん」

し、20歳以上でHPVに感染している可能性のある女性も接種対象になります。

効果の持続は10年以上と予測されており、安全性については筋注部位の疼痛・腫脹は多いものの、重い副作用の報告はありません。問題は費用が高くなり、接種率を上げるには公的補助が必要なこと。また、ワクチンを接種しても検診は必ず受けるべきで、子宮頸がん検診は2次予防として重要です。今後、HPVの認知度を上げ正しい知識を若い世代に啓蒙していくことが重要です。



日 本赤十字社は、災害対策基本法及び災害救助法に基づき指定公共機関となっており、最も重要な事業として「災害救護活動」があります。赤十字の医療施設である当院においても、医師1名、看護師3名、事務職員2名から成る救護班を6班編成しており突然やって来る災害に備えています。

「人々の苦痛を軽減する」という赤十字の使命を胸に本番さながらに傷病者の処置に全力を尽くしました。

9月4日(土)、京都市北区の京都府立鴨沂高等学校紫野グラウンドにおいて震度7の「都市直下型地震災害」を想定した京都市総合防災訓練が実施されました。当院からは救護班1班が参加し、日本赤十字社京都府支部の指揮のもと、京都府支部所属の防災ボランティアの方々と



赤十字の災害救護活動



9月の行事食は、敬老の日の散らし寿司と秋分の日の松茸御飯があります。今回は秋分の日の献立を紹介します。炊き込み御飯は塩分は上りますが、人気メニューです。治部煮はあまり馴染みがないかもしれませんが、元々は金沢の郷土料理だそうです。名前の由来は煮ているとジブジブ音があるから治部煮という説もあります。

栄養課便り
季節の行事献立
を紹介します。
管理栄養士
木藤 淑子

献立レシピ (一人分)

献立	材料名	分量 (g)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	食塩相当量 (g)
松茸ご飯	白米 松茸 しょうゆ	108 15 4	390	7.2	0.6
汐焼き	つばだい 塩	80 0.5	119	13.1	0.9
治部煮	鶏もも肉 小麦粉 大根 人参 さやいんげん 生しいたけ 砂糖 しょうゆ だし汁	20 3 20 15 10 1枚 3 6 50	80	4.7	0.9
清汁	花生麩 みょうが 乾燥湯葉 しょうゆ 塩 だし汁	6 3 1 4 0.3 120	18	1.6	0.9
おはぎ	おはぎ(粒あん)	50	103	2	0.1
合計			710	28.6	3.4



料理のポイント!

松茸御飯

- ◎米は1時間前に洗ってざるにあげておく。
- ◎まつたけはさっと洗って、固く絞った布巾で汚れをふき取り、石突の先を包丁でそぎ落としてから、繊維にそって薄切りにする。
- ◎しょうゆで下味をつけてから米と一緒に炊く。

治部煮

- ◎鶏肉は一口大にカット。
- ◎大根・人参・しいたけを角切りにさやいんげんは1本を3つ切りにする。
- ◎あわせだし汁を鍋に入れて火にかけ、煮立ったところで中火に落とし、切った鶏肉に小麦粉をまぶして1個づつそっといれ、なべ底に張り付かないように箸で軽くずらす。
- ◎すべて入れ終わったら野菜を加えて煮込む。

(右)木藤管理栄養士
(左)村上調理師



(information)

健康講座 第119・120・121・122回

当院では地域の皆様方の健康を願い、日常ありがちな病気についてのご理解を深めていただき、日常生活に役立て病気の予防に努めていただくことを目的とした健康講座を開催しています。平成22年9月～12月の開催日・テーマ・講師をご案内いたします。皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

119回 9/24 (金)	☆14時～ 「歯周病と全身疾患の関係について」 歯科口腔外科 猪田 浩理 ☆15時～ 「上手なブラッシングのコツ」 歯科衛生士 福村 朗子	121回 11/26 (金)	「介護について〈健康生活支援〉 ～車イスへの移動・扱い方～」 看護係長 木谷 順子
120回 10/22 (金)	「寒くなる前に！ ～気を付けよう！心筋梗塞～(仮題)」 循環器科 椿本 恵則 「寒くなる前に！ ～気を付けよう！脳卒中～(仮題)」 神経内科 永金 義成	122回 12/24 (金)	「骨粗鬆症の話 (仮題)」 整形外科 奥田 良樹 「自宅で出来る予防リハビリ ～転ばない・骨折しない為に～」 リハビリテーション課 理学療法士 岩倉 道憲 「骨を強くするための食事」 栄養課 管理栄養士 久保田 英嗣

*但し、テーマ・講師が変更になる場合はご容赦下さい。

- ◎ 時間：午後2時～4時(9月～12月共) ◎ 場所：当院C棟北6階会議室 ◎ 受講料：無料
- ◎ 申込み方法：どなたでも聴講可能ですのでご自由にご参加ください。
- ◎ お問い合わせ：医療社会事業部 社会課(C棟北1階) TEL：075-231-5171 (内線 8195)